

⑳ 高等学校 看護

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の()内に適する数字を書きなさい。

- (1) 成人の場合の体液量は、体重の()%前後である。
- (2) 女性の導尿時、カテーテルは(~)cm挿入する。
- (3) 浣腸に用いるグリセリン液の濃度は()%である。
- (4) 清拭時には(~)℃の湯を準備する。
- (5) 一時的吸引時の吸引圧は(~)mmHgくらいに上げる。
- (6) 食間薬は、食事の約()時間後に服用する。
- (7) 皮下注射時の針は、皮膚をつまんで(~)度の角度で刺入する。
- (8) 保存血液は(~)℃の温度で保存する。
- (9) 握力測定は、左右交互に()回ずつ測定する。
- (10) 採血は、駆血帯を締めてから()分以内におこなう。

2 次の(1)～(3)について、①～⑥に適する語句を書きなさい。

- (1) 呼吸数は変化せず、1回換気量が増加する異常呼吸を(①)といい、呼吸の深さは変化せず、呼吸数が減少する異常呼吸を(②)という。
- (2) 脈拍が途中で1回抜けることを(③)といい、脈拍数が100回/分以上の脈拍異常を(④)という。
- (3) 直腸検温時の体位は(⑤)または(⑥)である。

3 次の(1)～(3)について、説明しなさい。

- (1) 筋肉内注射を中殿筋におこなう場合のクラークの点
- (2) 血圧測定時のマンシェットの巻き方
- (3) ハフティング(Huffing)の実施方法

4 次の(1)～(7)の特徴的な症状を呈する小児の感染症を書きなさい。

- (1) 結膜充血・コプリック斑
- (2) リンパ節腫脹・薄い赤色の発疹・2～3日で治ることが多い
- (3) 痂皮形成・掻痒感
- (4) 手、足、口に発疹・発熱
- (5) 耳下腺腫脹・発熱
- (6) 嘔吐・四肢の弛緩性麻痺
- (7) 冠動脈瘤・莓舌

②③ 高等学校 看護

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

5 次の(1)～(3)の新生児の原始反射名を書きなさい。

- (1) 口唇にもものが触れると口を開き、吸い込む反射
- (2) 後頭部・頸部への急激な刺激や音により、上肢を抱え込むように屈曲する反射
- (3) 抱き上げ急に前傾すると、両手を伸ばし手を開いて体を支えようとする反射

6 次の(1)～(5)について、①～⑳に適する語句を書きなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5) 関節は形状によって区分される。安定性が悪く脱臼しやすい関節は、(⑪) 関節に区分される。指節間関節など一方向に動きやすく、軸方向に力が入りやすい構造となっている関節は、(⑫) 関節に区分される。

また関節の運動の分類では、正中線から離す運動を(⑬)、近づける運動を(⑭)、骨の軸に対して内向きにねじる運動を(⑮)、外向きにねじる運動を(⑯)、手掌を上から下に翻す運動が(⑰)であり、その逆の運動が(⑱)である。足の甲を脛へ上げる運動は(⑲)であり、その逆の運動は(⑳)である。

⑳ 高等学校 看護

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

7 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 長期間の安静臥床や固定によって生ずる症状や疾病は、廃用症候群とよばれ、特に高齢者に起こりやすい。廃用症候群の主な症状を3つ書きなさい。

(2) 各種の骨折とその特徴について、誤っているものを1つ選び、その番号を書きなさい。

- ① 肋骨骨折は非常に頻度の高い骨折で、全骨折の10%を占める。
- ② 大腿骨頸部骨折は老人に頻発する骨折で、高齢者が転倒して立てなくなった場合は本骨折と考えてよいほどである。
- ③ 大腿骨骨幹部骨折は骨折の部位によって上位、下位に分けることができる。人工骨頭置換術を実施することが多い。
- ④ 膝蓋骨骨折は関節内骨折であるので、早期に運動訓練を開始する。

(3) 腓骨神経麻痺は外傷や骨折・脱臼に合併して起こることが多いが、整形外科的治療・処置後に圧迫神経麻痺として医原性におこることもある。医原性の原因となる治療・処置の例を1つ書きなさい。

8 次の(1)～(3)について、①～⑮に適する語句を下のア～ヌから選び、その記号を書きなさい。

(1)

(2)

(3)

- | | | | | |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|
| ア 減少 | イ 横紋筋 | ウ 紫 | エ 拡張 | オ 質 |
| カ 収縮 | キ β_1 | ク 増加 | ケ β_2 | コ IgA |
| サ 平滑筋 | シ 緑 | ス IgG | セ 膜 | ソ 赤 |
| タ IgD | チ 青 | ツ β_3 | テ グラム陰性 | ト IgM |
| ナ 壁 | ニ IgE | ヌ グラム陽性 | | |

(全4枚中の4枚目)

②③ 高等学校 看護

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- 9 次の事例について看護計画を作成するにあたり、観察点と援助の方法について書きなさい。

Nさん(65歳)は消化管の出血のために入院中です。歩行時にふらつきがあることから、安全のために看護師が付き添うようにしています。しかし、看護師への遠慮があるようで、1人で歩いている様子がみられます。